

2006年 小浜カップレースにおける質問について

06.11.20

小浜フリート常任委員長  
小林 恒俊

先日掲示板にて質問された件について、下記内容にての結論が出ましたので、ご報告いたします。

- ①、 確かにケースが発生したと思われるが、その時の詳しい状況は本部艇から見ての左右間隔は視認できるが、前後の正確な艇間隔は視認できない。
- ②、 下マークから2艇身ゾーンに先行艇（本部艇位置からはティキティキと確認している）が達した時、オーバーラップがあったのかどうか、あるいはベアしてクリアしていたのかどうかは確認できない。
- ③、 ティキティキはポートで、フェアウインドはスタボーにて下マークに突入している。ご存知のように、仮にオーバーラップなしで下マーク2艇身内に突入した場合は、ポート・スタボーに関係なく先行艇に優先権利が生ずる。  
オーバーラップがあった場合は、ゾーン内・回航終了まではスタボー、上・下優先の権利はないが、ルームの要求と、それに応じる必要性がある。
- ④、 下マークに近づいた時、両艇からルームの要求、それに対する返答は聞こえていない。スタボーの掛け声はマークのところで聞こえていたとの証言があるが、前記したように下マーク部分でのスタボーコールは？となる
- ⑤、 ティキティキはルームをとっていたと証言している。本部艇からみている状態では、マークの右側の部分でのルームの幅は確認できない。  
ティキティキがそのマーク右側を通過中、フェアウインドがティキティキのスターンのポート側に接触するように直進してきて、急いでジャイブしたと認識している。  
マーク下側では確かにルームはあった。しかし、その前からの流れにおいて必要最小のルームであったのか、十分のルームであったのかは確認できない。  
フェアウインドのマークタッチは、マークの下側で確認されている。

話は変わりますが、私が仙台ベイチームチャレンジカップレースに始めて参加した時、Cクラスの為最初にスタートし、その後B・Aクラスの全艇に追い抜かれました。しかし表彰式の際に、＜海の上に一番長〜くいた賞＞という特別賞をいただきました。

理由は、レースに参加することが第一であり、そしてそれを楽しむことが何より大事であるとの、当時の理事長さんからの言葉でした。

閑話休題

上記①～⑤からの結論として、

- I、マークタッチが、どちらに非があったかは特定できない。
- II、下マークに近づいた時は、状況に左右されずルームの声掛けを十分行う必要があった。
- III、今回のケースも含め、シーマンシップにのっとり、先行艇は後続艇のためにルームの要求の有無に関らず、最小限以上のルームを空け、レースの安全を優先すべき。  
同様に後続艇も安全に回航できるよう自ら判断して舵をとるべき。

尚、参考文献に誤りがない限りにおいて、これをもって最終回答といたします。

以上

追記

グランプリとか準グランプリレースとは違うので、規則は順守すべきだが、それと同時にクラブレースの目的・内容を考えての参加、及び運営を心がける必要があるかと思います。

小浜委員会として、今後とも今回のような事例のないよう、そして誰もが気軽にレース参加できるような雰囲気と環境を守っていくことを心がけていきたいと思っています。同時に会員の皆様にも参加・協力をお願いいたします。

また、MORCの行事として、ルール勉強会などがあってもよいのではないかと考えます。

以上